

様式1

令和7年度指定管理者モニタリング評価表

施 設 名	羽咋市デイサービスセンター	所在地	羽咋市鹿島路町1788番地
指 定 管 理 者	はくい農業協同組合		
住 所	羽咋市太田町と105番地	選定方法	非公募
指 定 期 間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
指 定 管 理 料	0千円(令和7年度決算額) ※歳入 838千円		
評 価 担 当 課	地域包括ケア推進室		
年度重点目標	地域への広報や居宅介護支援事業者との連携などの強化を図り、利用者数の増加につなげる。		

評価項目		評価する内容の詳細	評 価 中 間	評 価 年 間	確認方法	備 考
1	職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A	A	現地	出勤簿・タイムカードのコピー及びQRコードでの出退勤管理を確認、勤務日程表確認
		事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A	A	現地	内部研修を実施(コンプライアンス、個人情報、救命講習)実施。動画研修も取り入れている。スマートフォンで研修が受けられるようになった。
		指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	A	A	現地	再委託なし
2	施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A	A	現地	各種台帳、業務日誌、運行日誌確認
		整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A	A	現地	毎日の業務終了後、職員で消毒液清掃
		法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A	A	書類	関係縦整備あり(水質、浄化槽、ボイラー等)ハサップ対策で、ねずみ・こん虫等の点検も実施。
		保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A	A	書類	適切に実施
		備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A	A	現地	適正に管理されている。
3	サービス向上への取組状況 (アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A	A	聞き取り	定型情報はJAホームページ、JA広報誌(かけはし)、JAが運用するSNS(LINEやInstagram)にデイサービスの情報を掲載している。
		特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A	A	聞き取り	適切に実施
		利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A	A	聞き取り	R8年2月に実施。利用者と家族が対象。回収率76.6%。
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A	A	書類	苦情やトラブルはケース記録に記載し、職員間で共有している。
4	防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A	A	書類 (聞き取り)	単独で火災訓練を9月に実施。12月に土砂災害を想定した訓練を実施。公民館と合同の訓練はR8年3月に実施。
		リスクに応じた保険等に参加しているか。	A	A	聞き取り	利用者・職員、備品等の総合的な保険に加入証書は本店にて保管・管理

評価項目		評価する内容の詳細	評価		確認方法	備 考
			中間	年間		
5	個人情報保護の措置状況	個人情報は適正に管理されているか。	A	A	現地	キャビネットに施錠して保管 開閉記録簿により使用者を把握
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A	A	書類 (聞き取り)	会計システムの勘定科目を細分化することで他事業との区分を図っている。同一法人が経営する他施設との共通経費があるため、単純経理化(通帳分離)は困難。
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A	B	書類	収支計画との大きな隔たりはないが、事業計画自体が赤字である。
		料金等の収入が適正に得られているか。著しい増減がある場合は、その原因は何か。	A	A	書類	未収金なし。
7	施設利用状況	施設の利用が十分に行われているか。利用者数、施設稼働率等に著しい増減がある場合は、その原因は何か。	A	S	書類	定員上限程度の登録者がおり、その内8割程度が利用している。 新規利用者25人(うち、鹿島路2人・越路野5人)
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A	A	書類	適時提出(実績報告)
9	アンケート調査意見及び対応	利用者アンケートを年度末に実施し、対応やサービス内容等良好であった。アンケート結果に基づいて、早急に対応できるものについては対応済。今後も利用者の満足度向上につなげる。日頃の業務においても、利用者の苦情・要望等を把握することに努めている。ささいな要望についても対応記録等をとっており職員間で情報共有等も行いサービス向上に努めている。				
10	今後、検討・調整が必要な事項	1日の定員上限の利用者で計画しているが、利用日当日の体調不良やショートステイの利用で、欠席が多く、実際の利用者は16人程度である。(R7稼働率77%)。また、令和6年度は要介護4と5の人は、延べ年間570人程度いたが、令和7年度は延べ年間120人程度に減少している(約8割減)。稼働率が低いこと及び介護度の重い人の利用が減ったことが収入減の主な理由となっている。稼働率を上げ、収益につなげるためには今後運用を検討する必要がある。				
11	今後の管理方針	設備等の経年劣化が見られるため、設備や備品の計画的な更新など、適切な施設管理が望まれる。公設でのデイサービス事業のあり方を検討する必要がある。				
総合評価		中間評価	年間評価		令和6年度	令和5年度
		A	A		A	A

【別紙1】指定管理者制度施設の利用者数及び収入額について

【注意点】

1. 各施設ごとに記入してください。
2. 差引増減数及び増減額が大きい場合は理由を記入してください。
3. 表が足りない場合は、表又はシートをコピーしてください。

【所管課】 地域包括ケア推進室

【施設名】 羽咋市デイサービスセンター

1. 利用者について (単位:人)

	今年度 利用者数	前年度 利用者数	差引	増減率
上半期(4月～9月)	2,306	2,271	35	1.5%
下半期(10月～3月)	2,454	2,412	42	1.7%
計	4,760	4,683	77	1.6%
差引増減数が大きい理由(増減率 ±10%以上の場合記入)				

2. 使用料又は利用料について (単位:千円)

	今年度 使用料又は利用料	前年度 使用料又は利用料	差引	増減率
上半期(4月～9月)	20,832	21,918	-1,086	-5.0%
下半期(10月～3月)	22,386	23,360	-974	-4.2%
計	43,218	45,278	-2,060	-4.5%
差引増減数が大きい理由(増減率 ±10%以上の場合記入)				